「わたしたちができる、未来へのお手伝い」

SDGs × SANKO

2021年度　SDGs 活動報告

環境に配慮したモノづくり

12（つくる責任、つかう責任）

13（気候変動に具体的な対策を）

14（海の豊かさを守ろう）

15（陸の豊かさも守ろう）

に取り組んでいます

ペットボトルに換算すると…

おくだけ吸着® には　500ml ペットボトル **2,560** 万本 使用（約640t）

びっくりフレッシュ® には　500ml ペットボトル **16** 万本 使用（約4t）

（※2017 年～ 2020 年使用分。500ml のペットボトルから 25g 再生として計算）
リサイクル原料（再生ポリエステル樹脂）の現在の使用率は約 50%

「グリーン調達」「グリーン購入」の実践として、リサイクル原料（再生ポリエステル樹脂）の活用を進めています。
今後も「リサイクル原料」の使用率を上げていくことが目標です。

モノづくり起点の価値創出

「サンコーは、これからも持続可能な
開発目標（SDGs）を支援し続けていきます」

サンコーが未来へできること

株式会社サンコーは、昭和37年（1962年）の創業より、地場産業である家庭用品の製造販売をベースに様々な事業活動に取り組んでまいりました。時代の求める新しいニーズを常に追いかけながら、試行錯誤の末に生み出した商品は多くの皆様のご愛顧をいただいております。

事業活動の根底にあるのは、経営理念である「人の心に貯金する」、そして「三つの幸せ」。商品を買う人･売る人･作る人、サンコーに関わるすべての人の幸せを追求し、お客様に「感動」を与えられるモノづくりを行なうことが私たちの使命です。

近年では、2020 年７月に表明した「サンコーグループ SDGs 宣言」に基づき、持続可能な社会づくりに向けた活動を強化。サンコーを生み、育てていただいた地域と共に発展していくため、様々な活動に取り組んでいます。

この度、2021 年度の活動報告としてこのパンフレットを発刊いたしました。今後も地域社会の一員として、社会的責任を果たし、地域の発展に貢献するため、たゆまぬ努力を続ける所存です。

2021年度 SDGs 活動報告

わたしたちの
取り組み内容を
ご紹介します。

2021.4-2022.3

SANKO

和歌山県トラック協会様に『緊急ミニトイレ』を寄贈

2021年6月、公益社団法人和歌山県トラック協会に『緊急ミニトイレ』5,000セットを寄贈しました。
トラックの長距離ドライバーが、渋滞やパーキングエリアでの大型車両の駐車スペース不足からトイレに行けないという問題があり、解決策として寄贈させていただきました。

「仕事の心得研修」を実施

社員研修の一環として「仕事の心得研修」を2021年度より実施しています。実施の目的は、企業文化である創業者の教訓「仕事の心得」の実践を確認・発表することで、今後の仕事に対する取り組み姿勢を明確にすることです。研修を通じて創業以来大切にしてきた姿勢を改めて理解し、今後も継承していきます。

社内広報誌「SDGs 通信」の創刊

社内 SDGs 活動の報告や SDGs の取組強化のために、社内広報誌「サンコーSDGs通信」を創刊しました。

「SANKO MUSEUM」の創設

2021年5月、本社5階のショールームを一部改装し、「SANKO MUSEUM」を創設しました。地域の小中学生の会社見学や地場産業学習の場として、商品の展示だけではなく、モノづくりのこだわりや SDGs の紹介、ワークショップができるスペースも設置。将来を担う子供たちがこの場所で有意義な時間を過ごせることを願っています。

SANKO MUSEUM

『エコな非常用簡易トイレ』を発売

2022年2月、環境に配慮した新商品として『エコな非常用簡易トイレ』を発売。トイレの便座部分にはホタテ殻を51%配合したバイオマスプラスチックを採用しました。ホタテ殻は毎年大量に廃棄されていることが問題になっています。この商品では動植物由来の持続可能な資源を使用し、プラスチックの使用量や産業廃棄物の削減に貢献しました。

リサイクルコーナーの設置

リサイクル活動啓発のため、社内にリサイクルコーナーを設置しました。この場でペットボトルのキャップや使い捨てコンタクトレンズの空ケースを集め、専門機関に寄贈しています。

月刊「PHP」地域貢献活動

昨年度から継続して、和歌山県の高校、支援学校、海南海草地方と和歌山市の一部の小中学校に月刊「PHP」を毎月届けています。教育現場の先生方からは多くの感謝が寄せられており、今後も継続して子供たちの成長を応援していきます。

パートナーシップ構築宣言を表明

2021年12月、パートナーシップ構築宣言を表明しました。
パートナーシップ構築宣言とは、大企業・中小企業を問わず、取引先と共存共栄できる関係を構築していくための制度です。
今後も取引先の皆さまと共に発展していく会社を目指します。

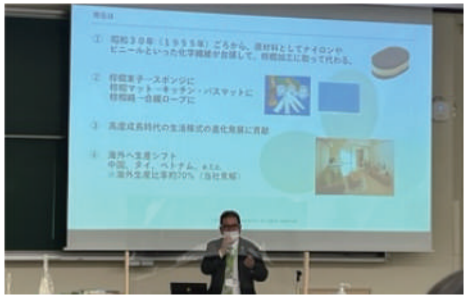
二次健康診断の実施

今年度より、定期健康診断に加えて二次健康診断を実施しています。定期健康診断では測定できない血管の内側や心臓の動きがわかり、脳卒中や心筋梗塞の予防につながっています。

海南市
巽コミュニティーセンターで
出前講座を実施

海南市の巽コミュニティーセンターにて、地域の方々を対象とした出前講座を実施しました。「ペットと人が暮らしやすい生活環境づくり」をテーマに、ペットと長く暮らしていくためのポイントをお伝えしました。地域の皆さまの生のお声を聞く貴重な機会となり、新しい商品づくりのヒントを得ることができました。

和歌山大学地域協働セミナー



2021年12月、和歌山大学にて講義を行いました。「地場産業をプロデュースする - 近代技術を活用した取り組み」というテーマで、海南市の地場産業である家庭用品の成り立ちや当社の会社紹介・商品説明を行い、授業は約200名の学生にご聴講いただきました。
今後も、このような機会を通じて地場産業である家庭用品産業の継承・発展に努めます。

幼稚園に
『手洗いボール』を贈呈

2021年4月、海南市教育委員会を通じて海南市の公立幼稚園7園へ『びっくり抗菌帰ったら手洗いボール』300個を贈呈しました。コロナ禍の中、手洗い習慣を身につけ、感染予防対策のひとつとしていただきたいと思います。

海南市内の小学校、図書館に
読売 KODOMO 新聞を寄贈

昨年度から継続して、海南市内の小学校11校、海南 nobinos、下津図書館に「読売 KODOMO 新聞」を寄贈しています。子供たちが新聞を通して学び、たくさんのことに興味を持つきっかけになることを願っています。

海南市立海南中学校産業学習

2021年9月、海南中学校2年生の皆さんが産業学習の一環で来社されました。海南市の家庭用品産業の成り立ちや現状について講義させていただきました。また、SANKO MUSEUM を案内し、サンコーのモノづくりのこだわりについて、実際の商品にも触れていただきながらお伝えしました。

海南市防災訓練に参加

2021年11月、2020年に海南市と締結した「災害支援等の協力に関する協定」に基づき、海南市防災訓練に参加しました。訓練では実際の避難時を想定して支援物資の搬出入を行い、万が一の時を改めて考える良い機会となりました。

和歌山市に『トイレ非常用袋』を寄贈

2021年10月、和歌山市にて水道水を送水する橋が崩落し、大規模な断水が発生しました。被害に遭われた多くの皆さまの一助になればと思い、支援物資として『トイレ非常用袋　10回分』2,000個を和歌山市に寄贈しました。

途上国への支援

途上国への支援として、着なくなった衣料の寄付や、消費期限が近くなった非常食を食料として輸送する「救缶鳥プロジェクト」への協力を行なっています。

未来を担う方々を応援しています

和歌山県内の団体を中心に、スポーツ、芸術の未来を担う方々を協賛やサポーターという形で応援しています。
実際に応援活動を行なっている団体をご紹介します。

【ポップアスリートカップ】
子供たちの”トップアスリートになる”という夢を現実に近づけるため、ポップアスリートの大会開催を広告や協賛という形で応援しています。

【アルテリーヴォ和歌山】
関西リーグ1部に所属し、Jリーグ加盟を目指すアルテリーヴォ和歌山の活動を多面的に支援し、チームの育成をサポートしています。

【和歌山県障害者スポーツ協会】
障害者スポーツ協会のサポーター活動を行なっています。障害者スポーツ・レクリエーション活動の振興と障害者福祉の増進、及び障害者スポーツ競技力向上を目的とした活動をサポーターとして応援しています。

【りら創造芸術学園】
りら創造芸術学園の教育活動推進や教育環境整備などを応援するために後援会活動を行なっています。後援会の会員として、運営の支援や行事のサポートを行ないます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

サンコーグループは持続可能な開発目標(SDGs) を支援しています。

SANKO
株式会社サンコー

〒642-0022 和歌山県海南市大野中 715
ホームページアドレス https://sanko-gp.co.jp
メールアドレス liv@sanko-gp.co.jp

2022年5月16日発行

VEGETABLE OIL INK 地球環境保護のために、再生紙と植物油インクを使用しています。